

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり報告します。

総 務 文 教 調 査 会

平成 26 年 5 月 14 日（水）

全員協議会室

10 時 00 分～11 時 45 分

(委 員) 佐々木委員長、岡本副委員長

岡野委員、小川委員、森谷委員、野藤委員、上野委員、江角委員

(議—長・委員外議員) 足立議員、柳楽議員、串崎議員、笹田議員、芦谷議員、渋谷副議長
西村議員、牛尾昭議員

(総務文教委員会 所属管理職)

〔市長公室〕 ~~湯浅市長公室長~~

〔総 務 部〕 牛尾総務部長、前木総務部次長(総務課長)、河上安全安心推進課長

〔地域政策部〕 砂川地域政策部長、細川地域政策部次長(政策企画課長)、坂田地域振興課長、

〔財務部〕 埴財務部長、宮崎財務部次長(財政課長)、河野財産管理課長、宇津税務課長

〔金城支所〕 吉永支所長、大崎自治振興課長

〔旭 支 所〕 岩谷支所長(自治振興課長)

〔弥栄支所〕 田中支所長、森下自治振興課長

〔三隅支所〕 横田支所長、斎藤自治振興課長

〔会 計 課〕 江木会計管理者

〔教育委員会〕 石本教育長、山本教育部長、三浦教育部次長(教育総務課長)、佐々木学校教育
課長、山根生涯学習課長、島田中央図書館長、横田青少年サポートセンター所長

〔消防本部〕 加戸消防長、河上消防次長 (消防本部総務課長)

議 題

1 報告事項

- (1) 平成 27 年度国県重点要望事項について
- (2) 平成 26 年度浜田市防災訓練等について
- (3) 坂根正弘奨学金制度について
- (4) 平成 26 年度島根県立大学（浜田キャンパス）入学者選抜状況について
- (5) 平成 25 年度空き家バンク制度の実績について
- (6) 平成 25 年度浜田市生活路線バス及び予約型乗合タクシーの利用実績に
ついて
- (7) 浜田市生活路線バス運行管理業務委託の入札結果について
- (8) 平成 25 年度浜田市ふるさと寄附金実績報告について
- (9) 「浜田市公共施設白書（暫定版）」速報値について
- (10) 平成 26 年度税制改正について
- (11) 平成 26 年度固定資産税及び軽自動車税の当初賦課状況について
- (12) 新国府小学校の開校に向けたスケジュールについて

- (13) 市内中学生の進学等の状況について
- (14) 浜田室内プールの取得について
- (15) 三隅図書館の開館時間延長の試行について
- (16) 平成 26 年度文部科学大臣表彰の受賞について
- (17) 青少年サポートセンターの利用状況について
- (18) その他

(配付)

- ・平成 26 年度 園児・児童・生徒数一覧表
- ・平成 26 年度 学校職員名簿
- ・平成 26 年度 公民館職員名簿

2 その他

(開 議 10 時 00 分)

佐々木委員長

皆様おはようございます。全員お揃いなのでただいまから総務文教調査会を始めさせていただく。まず議題に入る前に、4月1日付で人事異動があり、それに伴う職員挨拶をお願いしたいと思う。順次よろしく願います。

(以下、職員挨拶)

非常に多くの方が異動され、新たな部・課も出来て、我々所管委員会としても益々責任の重さを感じている。新任の方を含め、今後ともよろしく願います。挨拶だけの方は退室されて結構だ。それでは議題に入る。

1. 報告事項

(1) 平成 27 年度 国県重点要望事項について

安全安心推進課長

この資料は全体ものが配布されているが、総務文教委員会所管分のみ、説明報告していただくので、1番1点について報告願います。

国県要望事項の総務部分、No.1「米軍機による低空飛行訓練の中止について」説明させていただく。

(以下、資料をもとに説明)

佐々木委員長

委員から質疑がある方。江角委員。

江角委員

内容がどうの、取り組みがどうのということではないが、少し今後取り入れていただきたい、認識を持っておられるかということでもちょっとお聞きしたい。この低空飛行の訓練が行われている関係で言うと、1つはブラウンルートとか色の名前がついたルートが示されており、これはあまり公表されていなかったのだが、オスプレイの導入に伴って、アメリカ側がきちんと発表したという意味で、これは明確化されてきたものと思っている。もう1つは、ルートではなく、エリアということで低空飛行訓練区域が設定されており、これがエリア 567 というふうに言われているとうかがっている。このエリアは米軍が設置しているというエリアではなく、日本の自衛隊が訓練をするという意味合いの設定だとうかがっているが確証は無い。その意味でアメリカ側に低空飛行の中止を求めるということも同時に必要だと思うが、単なる低空飛行もあるが、爆撃訓練のようなものが繰り返されているので、これも人がいる公共施設等を目標にやられていると思われるので、むしろこのエリアを、無くなるのが一番良いのだが、人が居ないところに、日本の防衛省辺り、あるいは日本国が設定をしなおしてもらおうような、そういったこともひとつ要望の中にしっかり入れていくという問題意識を持ってもらいたい。その前提には調査が必要だろうと思うが、そのお考えを提供しておきたいと思う。もし

安全安心推進課長 お考えなり認識があればうかがっておく。
ご提案の件については内部でも検討させていただこうと思っている。ただ、すぐに対応出来るかどうか分からないが、検討させていただこうと思う。

佐々木委員長 他に。
(無し、という声あり)
無いようなので次の議題に移る。

(2) 平成 26 年度浜田市防災訓練等について

安全安心推進課長 平成 26 年度浜田市防災訓練等について、安全安心推進課長。
例年 6 月を中心に実施している訓練だが、今年は 6 月 15 日(日)、9 時から 12 時を予定として、金城町の金城総合運動公園を会場として実施を予定している。今年度のテーマとして、昨年大きな災害が起きているので、水害・土砂災害に対する防災活動を予定している。現在、関係団体等に呼び掛けて、訓練の内容・参加内容等を詰めているところだが、5 月 29 日に防災会議を予定しているので、そちらで詳細を決めて実施の方向に向けていく予定にしている。

続いて 2 番目の地域防災計画の改正状況及び今後の予定を説明させていただきます。地域防災計画については、平成 25 年度において株式会社ぎょうせいさんによる委託による草案の作成は出来ている。機構改革と、あるいは 26 年の国の法律改正等含めて、現在草案の修正作業を行っている。5 月末に行う防災会議、先程言ったように 5 月 29 日予定だが、ここで草案の概要説明をし、26 年 6 月議会での草案の概要説明を予定している。この後、7 月からパブリックコメントによる意見募集を 1 ヶ月間行い、8 月下旬から 9 月上旬にかけて第 2 回浜田市防災会議において、この防災計画を承認いただき、9 月下旬には議会並びに県への報告という予定にしている。この防災計画は市の防災計画の根幹となるもので、非常に膨大な量の計画になっているが、色々な国の法律等の改正を併せて盛り込みをしている最中である。特に震災関係については地震と津波とに分けるとか。東日本大震災を受けた対応内容が盛り込まれている。また、避難所の扱いとか色々細かい点も含めて今見直しをしているので、草案が出来次第、議会へも提案させていただく予定にしているのでよろしくお願いする。

佐々木委員長 この点について委員から質疑があれば。
(無し、という声あり)
無いようなので次の議題に移る。

(3) 坂根正弘奨学金制度について

坂根正弘奨学金制度について、政策企画課長。

政策企画課長

ペーパーをご覧いただきたい。このたび浜田市出身の坂根正弘氏からの寄付金を原資として、坂根正弘奨学金制度を創設した。将来の科学技術及び医学の進歩、経済の発展等に貢献する人材を育成・支援することを目的に創設した。募集の概要については将来採用人数は、大学生 2 名程度。寄付金額は大学所在地によって分かれるが、7 万円から 5 万円、給付期間は 26 年 4 月から 4 年間。応募方法については 5 月広報でもご案内したところだが、5 月 1 日から 30 日までの間ということ、提出書類については、奨学生願書、家計調書、奨学生推薦書、在学証明書、住民票、保護者の前年所得を証するもの。それから、結果通知等ということ、第 1 次審査により 5 名程度に絞り込み、それを 6 月末ぐらいまでのところで行いたいと思っている。第 2 次審査については、論文・レポートと面談を行っていききたい。

佐々木委員長

委員から質疑をお願いする。
(無し、という声あり)
無いようなので次の議題に移る。

(4) 平成 26 年度島根県立大学（浜田キャンパス）入学者選抜状況について

地域政策部次長

平成 26 年度島根県立大学（浜田キャンパス）入学者選抜状況について、地域政策部次長。

平成 26 年度島根県立大学（浜田キャンパス）入学者選抜状況について、ご報告出来る状況になったためご報告させていただく。入学者選抜状況の推移のところをご覧いただきたい。

(以下、資料をもとに説明)

佐々木委員長
岡野委員

委員から質疑があれば。岡野委員。

大変詳しいデータをいただきありがたい。浜田市在住の大学生、自宅通学制は 4 名から 8 名に増えたという現状だが、全体 237 名から見ると自宅通学制はほとんど居ない状況である。その中で、浜田市側が独り暮らしの大学生で浜田市に住民票を移された方のパーセントと言うか。ほとんどの大学生は住民票を浜田市に移していないというのが現状だと私は把握しているのだが、浜田市側がそれを把握されているかどうか。何故こういうことを言うかという、浜田市に住民票を移していただくと、地方交付税が年間 7 万 5 千円ぐらい増えるということ、それが 200 名以上居るとかなりの総額で、かなり違う。尚且つ住民サービス等をする場合でも、実態を把握する場合でも、住民票があるということは非常に重要であり、また行政手続きの中でも、住民票を移さないことは過料に相当する処罰規定があったと思う。アルバイトをするうえでも住民票を移していただくという指導をしっかりとやっていただきたいと思う。まず広報ないし周知をすることで、浜田市の行政サービスを知っていただく。尚且つ円滑な業務にするという意味で

も、それをやられているかどうか。尚且つ数字的に把握されているかどうかを、もし今分かれば教えていただきたい。

佐々木委員長
地域政策部次長

地域政策部次長。

住民票を移しているかの把握については、大変申し訳ないが把握はしていない。その辺のところでも市長も、住民票を移していない学生はどのくらい居るのかということも非常に危惧しており、ただ住民票を移してくれというだけではなかなか映してくれないのではないかなというようなことを市長も申して、検討しろということが下りている。今ちょっと考えているのは、どういう形が良いかということも含めてなのだが、学生に対して住民票を移すとインセンティブ、こういう特典があるよみたいなものが出来れば移してくれるのではないだろうかということで、今、政策各課の方でその内容について検討中である。

佐々木委員長
江角委員

他に。江角委員。

20年前ぐらいだったかと思うが、定住対策ということで雇用の場がこの浜田市に広がっていけば一番良いのだが、当時言われていたのは、高等教育の場がこの浜田市内に無いのではないかとということで、大学の、当時短大からだったが始まった。それから医療機関の充実ということも言われてきたのだが、4年制になったりして今日来ているが、4名から8名になったことは喜ばしいことだが、定住に繋がるかどうかは別として、高校から次のステップという時に、この大学に市内の高校生がどのくらい行くかということも注目すべきことだろうと私は思っている。それにしても人数が少ないと感じているが、それについての認識と言うか、その上で今後どのように働きかけていくのかということも、浜田市の定住という意味から言っても重要ではないかと思うのだが、もしご認識があればおうかがいしたい。

佐々木委員長
地域政策部次長

地域政策部次長。

非常に難しい問題で、浜田市内の各高校に県立大学のPRをするということも大切だと思っているし、県立大学の主要事業という、地域に根差した教育をやるというようなこともあるので、もう少し県立大学の良さを市民の皆様に分かっていただくような仕掛けも必要なのかなと思っている。実際に入学者数の8名のうちの高校の状況についてもある程度分かっているのだが、なにぶん人数に限られているので、それをちょっとオープンにすると個人情報にも該当するということなのだが、一応データ的には貰っているんで、その高校に今後も積極的に声かけをして、1人でも2人でも増やしていく。そういう地道な取り組みをしなくてはいけないのかなと考えている。

佐々木委員長
江角委員

江角委員。

以前、強制は出来ないが中学校から高校に上がる進学の問題、

違い、流出と言ってはどうかと思うが、そういった問題もある。それから高校から大学というような問題もあって、教育委員会の方にも以前、連携が必要なのではなかろうかということも提案させていただいたのだが、一概にすぐ連会をすれば上手くいくというような問題でもないし、増えたからといって手放しで喜ばれる問題でもないかとは思いますが、その後の教育委員会として、何か進行、取り組みの状況があれば教えて欲しい。

佐々木委員長
教育長

教育長。

中学校と高校の連携についてに限ってお話させていただきたいと思う。確かに議会でそういったご質問をいただいた。その後、中学と高校の連携を、教育委員会としても取り組んでいくというようなことをその時に回答させていただいた。その後、中学校と高校の校長先生方の会合、昨年は1回開いた。その後、市長も各校長先生と話し合いを持たれ、いわゆる地元の高校の魅力をアップするためにはどうしたことをしたら良いかといった意見交換もしておられる。また市の中でもそういったことを検討する会議を設けた。それで教育委員会だけではなく、横断的な組織の中で、今検討を進めているので、中高の連携を促進すると共に、地元高校の魅力をアップするといった点についても、市として応援出来ることがあれば、その辺は推進していくといった方向で検討している。今しばらくお時間をいただきたいと思います。

佐々木委員長

他に。

(無し、という声あり)

無いようなので次の議題に移る。

(5) 平成 25 年度空き家バンク制度の実績について

地域政策部次長

平成 25 年度空き家バンク制度の実績について、地域政策部次長。平成 25 年度空き家バンク制度の実績についてというペーパーをご覧ください。

(以下、資料をもとに説明)

佐々木委員長

この件について委員の皆さんから質疑はあるか。

(無し、という声あり)

それでは次に移る。

(6) 平成 25 年度浜田市生活路線バス及び予約型乗合タクシーの利用実績について

地域振興課長

平成 25 年度浜田市生活路線バス及び予約型乗合タクシーの利用実績について、地域振興課長。

平成 25 年度浜田市生活路線バス及び予約型乗合タクシーの利用実績についてご説明・ご報告申し上げます。まず始めにお断りだが、事前にこの資料を配布させていただいていたのだが、表面の増減の前年度費、また、裏面の増減の前年度費、これらに表示誤りが

あったので、今日お手元に正当なものをお届けしている。大変恐縮だがそちらでご説明をさせていただきたい。

(以下、資料をもとに説明)

佐々木委員長

ただいまの件について委員の皆さんから質疑はあるか。岡本副委員長。

岡本副委員長

スクールバス、それから医療関係で少なくなっていることなのだが、全体的に落ちた理由というのは、だいたい人口が減ったとかが関連しているのかお聞きしたい。

地域振興課長

先程の大きなものについては、運行事業者あるいは担当支所とも相談した結果、こういう事情だろうと判断している。あと、僅か減った分あるいは僅かに増えている分については、はっきりした理由というのは分からないが、やはり人口減であったり、あるいは利用時間帯であったりで、少し増減が出ているのではないかと考えている。

佐々木委員長

他に。

(無し、という声あり)

無いようなので次へ移る。

(7) 浜田市生活路線バス運行管理業務委託の入札結果について

浜田市生活路線バス運行管理業務委託の入札結果について、地域振興課長。

地域振興課長

資料 1 番目の入札結果だが、平成 26 年 3 月に金城・旭・弥栄野原・三隅、この 4 路線について 3 月 17 日に入札を執行した。入札の結果については資料の表のとおりだが、金城路線については入札が不成立、取り止めとなったので、改めて 4 月に再入札している。結果として 4 月 18 日に再入札を執行し、指名競争入札の結果、落札業者が決定している。これに基づいて下の部分、年間委託料だが、25 年までのものに比べて今回の 26 年度の入札に関しての委託料の金額を総計として、2573 万 7 千円、参考として前年度が、4268 万 1 千円なので、約 1700 万円の減。ただし、金城と三隅路線については、若干路線等を変更しているもので、僅かではあるが単純比較にはならないが、入札したことによって若干委託料の減が出ていることをご報告したい。

佐々木委員長

委員から質疑はあるか。岡本副委員長。

岡本副委員長

この路線の入札結果の中で、弥栄野原と三隅路線、かなり金額が落ちている。この金額で本当に大丈夫なのか懸念する。どういう企業なのかちょっと教えて欲しい。金額が下がった理由が分かればお示しいただきたいのが 1 点。この企業はそれだけの能力があるのだろうと思うが、どういう企業なのか。この 2 点。

佐々木委員長

三隅支所自治振興課長。

三隅支所

まず 1 点目の下がった理由について。これについて確かに落札

自治振興課長

価格が非常に安くなっている。出来るのかどうなのかというご質問だが、業者さんが入札された価格なので、出来るか出来ないかというところまでは私どもでは分かりかねる。企業の概要について、これもあまり詳しい説明が出来ず、委員さんのご質問に十分な答えにはならないかもしれないが、他地域でもこういうバス運行のようなことをされている会社というふうにはうかがっている。浜田地区だけではなく。例えば雲南とか、もしかしたら他県でもやっておられるのかなという。大々的にこういう業務はやっていらっしゃるようには、以前の記憶で申し訳ないがうかがった記憶がある。

佐々木委員長
江角委員

他に。江角議員

今の件について。出来るかどうか分からないというよりはむしろ、浜田市も色んな関係から判断や分析をして、雇用条件もあるだろうし、最低条件みたいなこともあるだろうし、安全面のこともあるだろうし、そういったことを含めて最低限このくらいのところは必要であるというような認識なりきちんとした基準を、内部で持っておく必要があるのではないかという感覚が私にはある。まずその点をお聞きする。

三隅支所
自治振興課長

江角議員のおっしゃるとおりだと思う。今回の入札価格によって安全運行がマイナスになるといったようなことは、まず無いと認識している。ただ、最低どれぐらいの程度無ければ支障があるとか無いとかいうところについては、ちょっと難しい問題だと思うので、これは私どものところだけでは判断出来ないで、今のご意見を頂戴して、本庁の関係課とも相談なりをしてみたいと思う。今回の入札が1年ということになっているので、また次の年には先程のご意見等も参考にさせていただかなければいけないと思っている。運行上の支障があるとは認識していない。

江角委員

分かった。総論で伺いたいのだが、また詳しい件については調査事項に入れて勉強したいなと思っているが、例えば不景気な時代に建設業界で言えば、出来るだけ地元業者に入札してもらうような仕組みを取ったりする。もちろんこの関係も大きくは浜田市の市内業者さんが中心になっているとは思いますが、もっと狭義の意味で、例えば金城自治区、旭自治区、三隅自治区だとかというような、もう少し狭義の意味で地元の会社を育てる、守る、そういう観点からすると、浜田市全般になって、先程「基準が少し分からない」と答弁があったが、出来るだけ安い価格の方を当然取っていかざるを得ない流れだとは思いますが、自治区の業者さんも生き延びていただくような配慮をすることも、絶対的に必要だとは言いきれないが、そういった面も考える必要があるのかなというふうに。いよいよ最終的にそういった業者さんがどこの地域からも自治区からも消えていくようなことがあってはいけないなという

不安も一方にあるので、そういった考慮についての現段階の考え
みたいなどころをお持ちなのか。今で言うと、価格だけではなく
て総合的に判断されているのだと思うが、結果的には多分、安い
価格の方をお取りになっているのではないかと思うのだが、その
辺の考えを、あればお伺いしたい。

地域政策部長

全体的なことなので私からお答えさせていただく。江角議員か
らあったように、地元業者を優先するというのも重要だとは思
っている。ただ一方で、やはり競争入札なので価格でまず審査さ
せていただくことが最優先。ただ、例えば参加する業者に当然地
元の業者を入れる配慮はしているし、自治区単位で例えば指名業
者を替えるとするとまた内容が変わってくるということもあるので、
今はなるべく統一的な入札をしてその中で地元業者も何とか
入っていただきたいという思いがある。先程の説明にもあったよ
うに、1年ということをやっている。今年度この入札方法も含めて
今後のバスの在り方については今年度中に協議するというのも
担当課がやっている。先程、価格が下がって安全運行とかどうだ
ろうかというご質問があったが、表を見ていただくと同じ業者で
価格だけが変わっているということである。4月から早速運行して
いただいている、乗られた方のご意見等も、直接ヒアリング等は
していないが色々と声を聞いているので、まず住民の方のご不便
が無いようにするというのが一番。それを基本に、先程あった価
格のことや地元業者への配慮等もトータルして、今年度中にまた
色んなことで議論して行って、来年度新しい制度も考えていき
たい。そういう面でご理解いただければと思う。

江角委員

また勉強させていただくので、また委員会のところで、内輪の
ところで申し上げたいと思う。

佐々木委員長
森谷委員

森谷委員。

三隅の大新東についてはそんなに検証した原因を私は調べても
らって、お願いして、答えもいただいている。何故言われ
ないのか分からないが。その内容は、人件費と保険料。保険料はゼロ
になっていた。人件費は激減していた。その資料が正しい
ようなら、そこの段階で不安材料、保険料ゼロということは不安材料
なので、何らかの行動を起こされるべきではないかと思う。私は
この資料は強要したわけではない。普通にお願ひして提出して
いただいた。

佐々木委員長
森谷委員
佐々木委員長
三隅支所
自治振興課長

それは質問か、意見か。

質問。何故出さないのか。

三隅支所自治振興課長。

先程の江角委員さんのご質問に対して、この資料を用いた答
弁の必要性を私は感じていなかったことから、森谷委員さんか
らご指摘があったことは申さなかった。比較検討したのは、飽く
まで入札業者さんがどういう内訳でその全体価格を入札されたかとい

うのは分からない。なので、5年前の平成21年度と今回の積算、要するにこちらの設計書ベースの金額で比較した資料を用いて、飽くまでこれは三隅支所としての推測ということになるかも知れないが、その数値で見ると、約400万円は最低でも赤字になるのではないかなといったような推測は一応してはいる。

森谷委員

推測であるにしても、保険料ゼロという推測をされたわけだから、危ないと認識するのが当然だと思うので、その辺引き続き調べたり考えをまとめたり、安全性を守るアクションを起こすべきだし、答弁すべきだと思うがいかがか。

三隅支所
自治振興課長

保険料というところの項目は今年、仕様書の中身が統一されたと聞いていた。21年度の際は保険料という項目を別個立てて積算をしたのだが、今回は運行管理費に含めての積算をしているので、保険料がそこに含まれていないとは考えられないし、受託されたバス業者さんは保険には入っているということは確認している。

佐々木委員長

今の件について、江角委員、森谷委員、落札価格のあまりの大きな差について指摘があったのだが、これは委員会として、どういう違いでこういう差が出たのかという点について知っておくべきだと思う。その辺の資料を請求したらどうかと思うが、委員の皆さんのご意見はどうか。

(はい、という声あり)

そういう資料の提出がもし可能なら。

地域政策部長

今の点について、業者の関係もあるので、出せる範囲内で出すということで検討したいと思う。

佐々木委員長

はい、その範囲で。委員の皆さんそういう認識でお願いします。他に。

(無し、という声あり)

無いようなので次へ移る。

(8) 平成25年度浜田市ふるさと寄附金実績報告について

財務部次長

平成25年度浜田市ふるさと寄附金実績報告について、財務部次長。

資料にもとづいて簡潔に。25年度のふるさと寄付の実績が出たので報告する。

(以下、資料をもとに説明)

佐々木委員長

委員の皆さんから質疑は。

(無し、という声あり)

無いようなので次へ移る。

(9) 「浜田市公共施設白書(暫定版)」速報値について

「浜田市公共施設白書(暫定版)」速報値について、財産管理課長。

財産管理課長 お手元の資料をご覧いただきたい。
(以下、資料をもとに説明)
佐々木委員長 この件について質疑のある方。
(無し、という声あり)
今日のところは無いようなので次へ移る。

(10) 平成 26 年度税制改正について

税務課長 平成 26 年度税制改正について、税務課長。
お手元の資料をご覧いただきたい。
(以下、資料をもとに説明)
佐々木委員長 この件について質疑のある方。岡本副委員長。
岡本副委員長 2 番の法人住民税関係の説明で、現行からいわゆる改正後は引き下げをされるという中で、市税が減額になるというお話だったが、だいたいどのくらいを予測されているのか。
税務課長 そこにあるように、税率が 14.7 パーセントから 12.2 パーセントと、2.6 ポイント、割合にすると 2 割程度減少することになる。これは法人税割についてであり、法人税割が 3 億くらいあったと思うので、その 2 割くらい減るとなると 6 千万円くらいか。これは年度によって大きく変わるのではっきりしたことは言えないが、その程度の減少になると思われる。なお、これが適用されるのが平成 26 年 10 月以降に開始する事業年度からなので、今年度の影響はほとんど無いと見込んでいる。
岡本副委員長 今年度の影響は無いということだが、その後に補填されるだろうということではあるが、その辺はどうなのか、間違いないのか。当然それだけは少なくなった状況でいくということか。その辺の予測も含めて。
税務課長 交付税のことは私はよく分からないが、減収になった分だけ交付税の原資となる国の収入が増えるということなので、最低でも減った分くらいは交付税が増えるものと考えている。
財務部次長 交付税の全体の収入がどう変わるかご説明する。先程、年間 6 千万円下がる可能性があると言ったが、交付税上は収入控除するので、6 千万円減収になれば実質的に、本当に影響するのは一般的に認識して欲しいのだが、税が減った分は 25 パーセントが実質的に減るだけだと。増えても 25 パーセント。どういうことかと言うと、75 パーセントが交付税上控除される対象となっているため。常に 4 分の 1 だと考えて欲しい。6 千万円であれば 4 分の 1 だから 1 千 500 万円が実質的な減収。ただしこれは見た目の減収で、今回の法改正は地方にとっては喜ばしいことになる。何故かと言うと、減ったものが、新しく地方法人税というものが創設された。これは交付税の原資になる。交付税というのは交付団体、要するに財政力が無いところにいくお金なので、要は簡単に言うと東京で多

く集まっている法人関係の税が地方により配分しやすくなる仕組みというふうに考えてもらって構わない。何故こういうことが今回されたかと言うと、消費税増税がある。そうすると東京は特に消費税分が上がってくる。そうすると東京は不交付団体なので、増えるばかり。それを取ってやろうというのがこの趣旨である。総務省の偉い役人が考えること。そういう仕組みになっているのでご安心を。

岡本副委員長
佐々木委員長

了解した。

他に。

(無し、という声あり)

無いようなのでここで休憩を取りたいと思う。再開を 11 時 20 分とする。

(午前 11 時 10 分 休憩)

(午前 11 時 20 分 再開)

(11) 平成 26 年度固定資産税及び軽自動車税の当初賦課状況について

佐々木委員長

平成 26 年度固定資産税及び軽自動車税の当初賦課状況について、税務課長。

税務課長

(以下、資料をもとに説明)

佐々木委員長

この件について委員からの質疑があれば。

(無し、という声あり)

無いようなので次へ移る。

(12) 新国府小学校の開校に向けたスケジュールについて

教育部次長

新国府小学校の開校に向けたスケジュールについて、教育部次長。

佐々木委員長

(以下、資料をもとに説明)

野藤委員

この件について委員から質疑があれば。野藤委員。

スケジュールどおりに進んでいると思う。新国府小学校開校に向けた校歌や校章は変わるのか。

教育部次長

新統合小学校なので、校章・校歌は新しいものを作る方向で、現在学校側で検討作業を進めてもらっている。

野藤委員

「新」と付いていたのでその辺どうされるのかとちょっと感じた。

佐々木委員長

他に。

(無し、という声あり)

無いようなので次へ移る。

(13) 市内中学生の進学等の状況について

学校教育課長
佐々木委員長

市内中学生の進学等の状況について。学校教育課長。
(以下、資料をもとに説明)
この件について委員からの質疑があれば。
(無し、という声あり)
無いようなので次へ移る。

(14) 浜田室内プールの取得について

生涯学習課長
佐々木委員長

浜田室内プールの取得について、生涯学習課長。
(以下、資料をもとに説明)
この件について委員からの質疑があれば。
(無し、という声あり)
無いようなので次へ移る。

(15) 三隅図書館の開館時間延長の試行について

中央図書館長
佐々木委員長

三隅図書館の開館時間延長の試行について、中央図書館長。
(以下、資料をもとに説明)
この件について委員からの質疑があれば。
(無し、という声あり)
無いようなので次へ移る。

(16) 平成 26 年度文部科学大臣表彰の受賞について

中央図書館長
佐々木委員長

平成 26 年度文部科学大臣表彰の受賞について、中央図書館長。
(以下、資料をもとに説明)
この件について委員からの質疑があれば。
(無し、という声あり)
無いようなので次へ移る。

(17) 青少年サポートセンターの利用状況について

青少年サポセン所長
佐々木委員長

青少年サポートセンターの利用状況について、青少年サポートセンター所長。
(以下、資料をもとに説明)
この件について委員からの質疑があれば。
(無し、という声あり)
無いようなので次へ移る。

(18) その他

学校教育課長

3 点あるようである。1 点目、平成 26 年度園児児童生徒数一覧表と、その次の平成 26 年度学校職員名簿、これは続けて一緒をお願いする。学校教育課長。
皆様に事前に配布した園児児童生徒一覧表については訂正があったため、本日配布した一覧表をご覧いただきたい。訂正点は、

表欄外の米印の注釈の 2 つ目、30 人学級の該当校と、3、4 年の 35 人学級、それと裏面の中学校の欄外の米印 2 段目、第 1 学年の 35 人学級編制、ここの該当校が今回の訂正箇所である。

(以下、資料をもとに説明)

佐々木委員長

今の 2 点にわたっての説明で委員から何かあれば。

(無し、という声あり)

無いようなので、その次の、平成 26 年度公民館職員名簿について、生涯学習課長。

生涯学習課長

資料をご参照してほしい。

佐々木委員長

この件について何か。

(無し、という声あり)

無いようなので、他に報告事項があるか。地域プロジェクト推進室長。

地域プロジェクト

瀬戸ヶ島の埋立地の活用について現時点での取り組み状況について、少し口頭でご説明したい。これはロードマップ上は今年度中に活用の基本的な方針を決定することになっている。市民の皆さんの期待、あるいは関心が非常に高い事業なので、議会にも早めに進捗状況を報告してまいりたいと考えている。今、5 月末か 6 月上旬に市民の皆さんから広く意見を頂戴するための研究会を立ち上げたいということで、その準備を鋭意進めている。現在その点も含めて今後の進め方について年間スケジュールをペーパーにまとめている状況。今回の調査会に間に合わず大変申し訳ないが、5 月 20 日の全員協議会の中でご報告させていただきたいと思うので、ご理解いただきたい。

佐々木委員長

ただいまの件について今時点で何かあれば。

(無し、という声あり)

無いようなので、以上で報告事項は終わりたいと思う。次の議題へ移る。

2. その他

岡本副委員長

その他について、委員の皆さんから何かあるか。岡本副委員長。

ちょっと確認しておきたい。この市庁舎の耐震工事があった。当初耐震工事の予定等を聞いた状況においては 1 月頃には概ね済んで、相対的な絡みがあるから 3 月末まで仮設等々は残していくというお話だったが、議員間の話の中で相当、3 月が 4 月まで食い込んだ。そういうことで報告があるのかなと思ったのだが、工事は実際遅れたのか、遅れたということであれば遅れた理由、また、今後の決算等のこともあるので、費用的な問題が無ければ良いが問題があるのであれば、ここでお示しいただくべきかと思う。

佐々木委員長

安全安心推進課長。

安全安心推進課長

本庁舎の耐震工事の件だが、当初の契約の工期が昨年 6 月 26 日

から3月25日、これを計画上の工期としている。今ご指摘があったように、市内での工事が集中している。先程あった国府小学校、弥栄中学校の体育館、長浜西住宅、その他色々な建築工事が集中している。また全国的にも労働者不足ということが言われているが、こういったことの影響によって今回の耐震工事についても影響が出て、結果的に工期を3月31日まで変更している。また変更内容は、足場が残ったので多くの方が耐震工事自体が26年度までずれ込んだという認識をしておられるかもしれないが、耐震工事の本体工事自体は3月31日の変更契約をもって完了、竣工検査も3月31日に実施している。足場を残しているが、足場を残して26年度にやる予定にしていた外装板の取りつけとか、細部の調整関係といったものを、26年度の別途工事ということで、新たに新年度の中で契約している。この契約は4月1日付で契約し、契約上の工期が5月23日だったが、実際の竣工が4月30日になったので、検査も5月8日に完了している。遅れた理由は先程言ったように、職人さんの不足もあるし、施工管理業者等や、あるいは人の調整に手間取ったといったようなこともあるが、耐震工事というのが非常に高度な技術で、安全性を最優先しているのだから、なかなか調整に手間取った部分もあるが、耐震工事自体は一応3月末で竣工している。そういった経緯の清算についても建築住宅課から議会への報告があるとうかがっている。足場を残すことによる減額と労務費の増といったもので若干調整されているとうかがっている。

佐々木委員長

他に委員から。

(無し、という声あり)

無いようです。執行部から何かあれば。

(無し、という声あり)

はい。それでは以上で、総務文教調査会を終了させていただく。

(閉 議 11時 45分)

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

総務文教委員長 佐々木 豊治